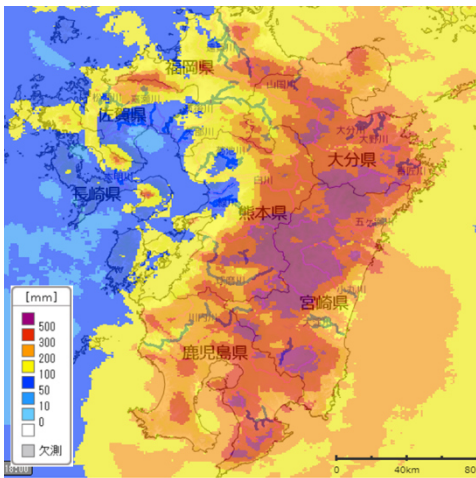


要望書

令和4年台風第14号による被害への対応について



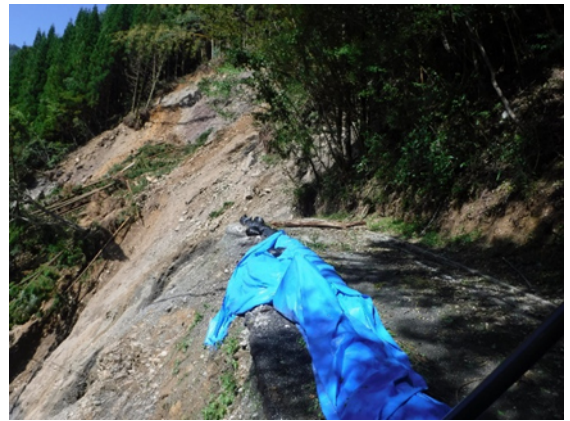
48時間累積レーダ雨量
(国土交通省提供)



令和4年台風第14号の被害状況
(八代市坂本町)



令和4年台風第14号の被害状況
(八代市泉町)



令和4年台風第14号の被害状況
(八代市泉町)

令和4年11月
熊本県八代市

八代市における公共事業の促進につきましては、かねてより格段のご配慮を賜り、心から深く感謝申し上げます。

球磨川では、「令和2年7月豪雨」をはじめ、過去に幾度も洪水に見舞われ、尊い人命や貴重な財産が失われてきました。

先の9月18～19日にかけて九州を縦断した「令和4年台風第14号」では、球磨川においては、多くの水位観測所で氾濫危険水位を超過する洪水となり、上流の支川川辺川では、氾濫による家屋浸水も発生しています。令和2年7月豪雨同様の事態が再び起こるのではないかと、住民は避難所に駆け込み、不安で夜も眠れない状況でありました。

本市の山間部で宮崎県との県境に位置する泉町では、法面や道路の崩壊等により多くの県道や市道が通行不能となり、10月5日まで集落の孤立が解消しませんでした。

また、令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた、球磨川中流域に位置する坂本町では、災害復旧中であつた国道が洗堀や路体流出等により、再び被害を受けるなどの被害が発生しました。

もし、令和2年7月豪雨以降に実施していただいている「大規模災害関連事業」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用した球磨川での堆積土砂の撤去等を実施されていなかったら、本川からの氾濫により、本市坂本地区や市街地でも家屋浸水が発生していたのではないかと危惧しており、更なる国土強靱化対策の必要性を痛感したところです。

近年の災害は、従前の想定を遥かに超える規模で激甚化・頻発化しており、これまで以上に住民の生命・財産が危険にさらされ、地域経済にも深刻な影響をもたらしています。これらの災害に対し、被害を最小限に抑えるためには、防災・減災、国土強靱化の更なる取り組みが不可欠です。

つきましては、「令和4年台風第14号」により、甚大な被害を受けた泉町の被災した市道等の早期復旧に向けた技術的・財政的支援をお願いいたします。

また、これまでの甚大な被害等の実情をご賢察いただき、治水事業や道路事業をはじめとする国土強靱化関係事業促進等に係る必要な予算の確保、拡充を図っていただくとともに、「5か年加速化対策」後においても、継続的・安定的に国土強靱化に必要な予算・財源を別枠で確保していただくことにつきまして、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月

八代市長 中村博生